１　本校の教育目標

教育基本法第一条に照らし、次の教育目標をおく。

(1) 基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、個性・能力の伸長に努める。
(2) 道徳的実践力の育成を図るとともに、基本的な生活習慣の形成に努める。
(3) 強健な身体と体力の向上を図るとともに、健康で安全な生活態度を養う。
(4) 自ら学ぶ意欲と時代や社会の変化に対応できる能力の育成に努める。

２　本年度の努力点と推進計画

(1) 主題

本校の教育目標とナゴヤ学びのコンパスが示す目指したい子どもの姿「ゆるやかな協働性の中で自立して学び続ける」生徒を育成するために、本校の生徒の実態を踏まえ、次のような努力点を設定する。

共に育む！！！
～自他を受け入れることができる生徒の育成～

(2) 主題設定の理由

本校の生徒は、お互いを讃えあったり、学年で一致団結して行事を成功させることができたりする。また、声を掛け合って協力しながら、さまざまな課題に挑戦することができる。学校行事に熱心に取り組むことができるのが本校の強みである。令和６年度より本テーマでの実践を続けているが、各分野と分野の専門家との伴走が機能すると、より効果的に学校努力点が進められることが分かったきた。具体的には、人権教育を進める際にはスクールカウンセラーを、キャリアタイムを進める際には、キャリアナビゲーターとの連携が大きな効果をもたらした。

今年度の取り組みとして、令和７年度実施の学校生活アンケートの中で、「課題に対して、自分の考えや意見をもち、表現することができている」の問いに対する回答が、他の項目と比較して、１０％ほど低い結果がでた。各学年の授業の様子を見ていると、自分の考えや意見をきちんと表現できているように感じていたが、生徒自身は、教師よりもできていないと感じていたことが分かった。

そこで、今年度は昨年度と同様に、「共に育む」を合言葉に、自他を受け入れることができる生徒の育成を更に確かなものとするため、人権教育とキャリアタイムに特化した２つの柱を通して、描く生徒像に導きたい。また、令和７年度の学校アンケートで実施した「授業の中で互いの考えや意見を認め合い、励まし合いながら取り組んでいる」の項目の賛同率が９０％だったものを、９５％まで向上させていきたい。

Ⅰ【人権教育】自分と相手を理解し、相互に受け入れ合う
Ⅱ【キャリアタイム】自分と周りがゆるやかにつながる

(3) 努力点推進に向けて

Ⅰ　人権教育

相手を理解し、相手を受け入れる生徒を育成するために、「福祉教育」や「人権教育」に力を入れる。また、１２月の人権週間では、朝の時間に人権リレー学習を行い、全校一斉の人権教育を実施する。また、今年度はアジア・アジパラ競技大会が行われるので、アジパラ競技大会に関する人権教育を実施していく。

Ⅱ　キャリアタイム

自分と周りがゆるやかにつながることができる生徒を育成するために、生徒が主体となった「ハピエンスクール（Happy＆Enjoyable School）活動」や、「MIRAI MAP」を活用したキャリア学習や、校外学習、稲武野外学習、修学旅行及び体育大会や音楽会などの行事を通して、リーダーシップおよびフォロワーシップを習得する。

(4) 各学年の目標

第１学年　つながる　～仲間との”基盤”をつくろう～
第２学年　自分を知り、相手を知り、自他を受け入れ、思いを伝え合える生徒
第３学年　自立して自分の未来に進む　～教わる　続ける　寛容である～
特別支援　いっしょに伸ばそう　わたしとみんなの芽

(5) 推進計画

時期	月	内容
１学期	４月 ５～７月	・努力点の設定と推進の立案 ・学年指導目標の設定・年間指導計画の作成 ・各部の指導目標作成・年間指導計画の作成 ・指導計画に基づく実践及び研修
夏季休業期間	７～８月	・各分野での研修・研鑽
２学期	９月～ １２月	・実践計画の修正、修正案に基づく実践 ・アジア・アジパラ競技大会観戦
３学期	１月～ ３月	・年度末反省、努力点の実践のまとめ（最終報告）、自己評価 ・次年度の計画と検討

(6) 研究組織

